

福祉用具の「レンタル」「販売」「住宅改修」を通じて、快適な住宅介護をサポートします。

私たちは「お客様第一」に徹し、「衛生管理のプロ」として安心と安全をお届けします。

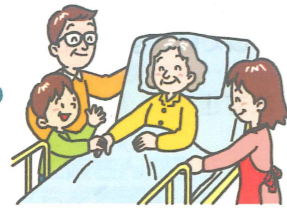
充実したアフターサービスを行なうことで、ご利用者様をバックアップしています。

千葉県内3拠点より全地域にご訪問させて頂いております。

事業所番号 1270300013  
千葉支店  
千葉市稲毛区山王町2-20  
TEL043-424-4765

事業所番号 1270800848  
市川営業所  
市川市鬼高1-13-1  
TEL047-300-9551

事業所番号 1271500900  
茂原営業所  
茂原市高師347-1  
TEL0475-27-3766



スタッフ一同、皆様からの電話を心よりお待ちしております。

## “在宅酸素療法”

デイサービスやショートステイにも



携帯タイプ

携帯型酸素濃縮器  
**AIR WALK AW-1**  
医療機器承認番号 216008ZY00373000

行動できるHOT(在宅酸素療法)を目指して——。

住み慣れた環境と家族の愛情に包まれた在宅療法を希望される患者様の増加に伴い、デイサービスやショートステイの利用者も年々増えてきています。患者様だけでなく、ご家族及び介護者をサポートするために開発された、軽量コンパクトサイズの携帯型酸素濃縮器AIR WALK AW-1は、持ち運びの負担を大幅に軽減し、操作の簡略化と安全性を高めた携帯型酸素濃縮器です。

Simple & Safety  
据置タイプ

酸素濃縮装置  
クリーンサンソ  
**FH-22/2L**  
医療機器承認番号 216008ZZ00484000



安全・快適・新2Lタイプ。

患者様を優しくサポートするクリーンサンソFH-22/2Lは、ベッドサイドにフィットする超薄型のコンパクトボディ、安全アラーム機能の強化、操作の簡略化に加え、インバーター採用により消費電力を大幅に軽減しました。操作パネルには抗菌加工を施し、いつでも清潔に、そして安心してご使用いただけます。

FUKUDA DENSHI 本社/〒260-0842 千葉県中央区船橋2-15-9 (C1425) TEL (043) 268-7577 (F) <http://www.fukuda.co.jp>  
お客様窓口 電話 (03) 5802-8600 / 受付時間: 月～金曜日 (祝祭日、休日を除く) 9:00～18:00  
※医療電子機器の総合メーカー フクダデンシテック株式会社



北海道 道南の紫陽花

## 介護付有料老人ホーム 親孝行のお手伝い

安心して豊かに自由に暮らせる新しい我が家です

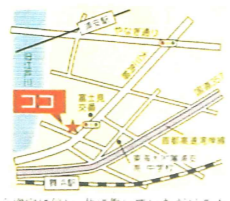


介護保険がご利用いただけます  
千葉県指定第1273200467号 (特定施設入居者生活介護) **入居相談受付中**

★入居一時金 **526万円～594万円**  
※75歳未満、定額制入居者 (18歳～74歳) には、500万円～600万円

★基本月額利用料 **19万5500円(税込)**  
※基本月額利用料 (基本費: 12,500円) 食事料: 6,000円/30食/月  
※上記以外の利用料金コースもあります。

- 医療とネットした安心介護
- 恵まれた周辺環境
- 直営の厨房で健康メニュー
- 全室ゆたかの居室(18.08～19.68㎡)



ダイニテグループ  
株式会社 **舞浜俱樂部**

お問い合わせ  
**047-350-7520**

ホームページアドレス <http://www.maihamaclub.co.jp>

スウェーデン福祉研究所会員  
■施設所在  
〒273-0043 千葉県浦安市富士見3-16-4  
■本社所在  
〒279-0002 千葉県浦安市北栄1-1-10  
■受付時間 午前9時～午後5時

## 介護用品の店



指定事業者番号 1271200261

介護保険 (福祉用具貸与、福祉用具販売、住宅改修) を  
お手伝いさせていただきます。

松戸駅西口歩いて**2分**

(有) アルファメディカル  
松戸市本町1-5 M・Kビル7階

TEL **047-366-8867**  
**366-4447**

FAX **047-366-8859**

営業時間 午前9時～午後6時  
休日 日曜・祭日

## INDEX

- 訪問看護が担うもの.....1  
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 佐野 袈裟美
- 望まれる訪問看護ステーションとは.....1～8  
〈船橋市の訪問看護利用に関するアンケートについて〉  
千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 (東葛南部 船橋地域)
- 予防給付ケアプラン作成の考え方.....8  
医療法人社団明生会 訪問看護ステーションかがやき 小川 直子
- 地区部会参加状況アンケート結果.....8～10
- 地区部会活動について～千葉市地区部会～.....11  
緑が丘訪問看護ステーション 山崎 潤子
- わたしたちのステーション活動紹介.....11～13  
ベル訪問看護ステーション/松戸神経内科訪問看護ステーション/  
マーチン訪問看護ステーション/セコメディック訪問看護ステーション/  
せいわ訪問看護ステーション
- わたしたちのステーションのオススメ.....15  
多古町訪問看護ステーション
- 編集後記.....15

## 訪問看護が担うもの

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会  
会長 佐野 袈紗美

平成18年4月からの介護保険、医療保険の法改正により訪問看護に期待されること。訪問看護が担うべき課題が明確にされた。

施設での看護から、在宅での看護へと大きな期待をもって変化している様子を明らかにしているのが今回の法改正であり、訪問看護のありようを示しているといえます。

特に介護保険の夜間・早朝・深夜の短時間訪問看護が新設され、ターミナルケア加算も24時間体制が要件となりました。また、認知症対応型共同生活介護等居住系施設との契約により入所者の健康管理を訪問看護師が実践し、施設が報酬を支払うこともできるようになりました。

診療報酬改定では「在宅療養支援診療所」との連携により在宅医療から看取りまでを担うことができ、在宅末期医療総合診療料は「在宅療養支援診療所」しか算定できなくなっています。

「在宅療養支援診療所」との連携では地域連携退院時共同指導料やターミナル療養費の引き上げも行われている。また、当該診療所の医師の指示により特別養護老人ホームへのがん末期の訪問看護も算定できるようになっています。

これらの改正は結局、「24時間、365日、地域で在宅の患者を支えるのは訪問看護以外にはありません。」ということを示しているのではないのでしょうか。

千葉県内には訪問看護師が660人しかいません。一つのステーションでできる事は限られていますが、ステーション同士連携して地域の看護ネットワークを構築していけたら安心して働ける職場になるのではないかと考えます。それはひいては地域の安心に繋がると思います。

## ●望まれる訪問看護ステーションとは●

### <船橋市の訪問看護利用に関するアンケートについて>

千葉県訪問看護ステーション連絡協議会  
(東葛南部 船橋地域)

私たち船橋市内の訪問看護ステーションは、定期的に管理者が集まり研修会や情報交換を行ってきました。

今回、平成18年から介護保険法の一部改正に伴い、今後訪問看護ステーションがどのようにサービスを展開していくのが望ましいのだろうということになり、市内の訪問看護利用者、ケアマネージャー、訪問看護ステーション管理者にそれぞれアンケートをとり、模索することになりました。

#### 1. 目的

A) 訪問看護利用者、B) ケアマネージャー、C) 訪問看護ステーション管理者に対し訪問看護利用に関するアンケートを行い、現状を把握するとともに生の声を聞くことから今後の活動の一助とし、訪問看護の活性化を図る。

#### 2. 時期

アンケート期間：  
平成17年7月15日～8月31日

#### 3. 方法

A) 訪問看護利用者に対し：  
・アンケート配布 7月19日～7月31日  
各訪問看護ステーション毎に、無作為に約10名選び、訪問時利用者に配布する。(140名)

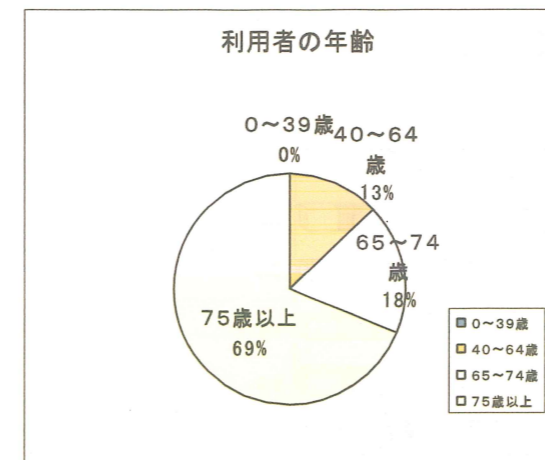
- ・アンケート回収 7月19日～8月31日  
無記名にて訪問時に回収する。
- B) ケアマネージャーに対し：  
・アンケート実施の周知 7月15日  
船橋市介護保険事業者連絡会にて、参加するステーションの管理者全員で訪問看護のPRとともに、アンケートの趣旨を説明する。
- ・アンケートの配布 7月16日～7月31日  
各訪問看護ステーションの管理者が、近隣の居宅支援事業所10ヶ所にアンケート持参し依頼する。(140事業所)
- ・アンケート回収 7月16日～8月31日  
FAXにて返信
- C) 訪問看護ステーション管理者に対し：  
・7月1日時点での利用者の基本情報をまとめる。

#### 4. 結果

##### A) 訪問看護利用者へのアンケート

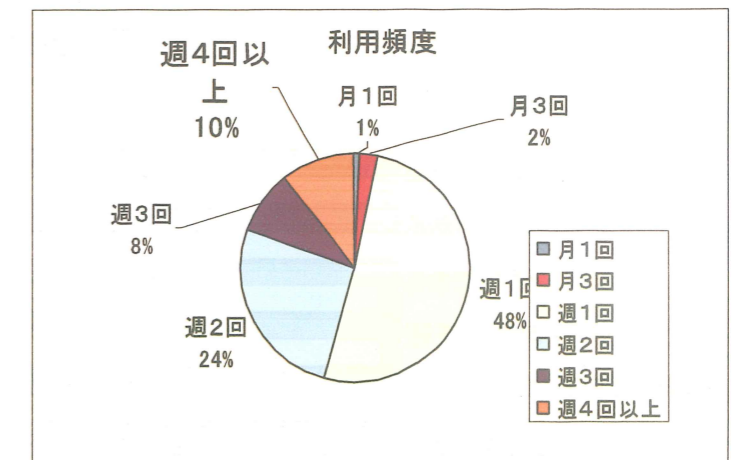
訪問看護ステーションごとに無作為に10人ずつアンケートを配布し、131名の回答があった。(回答率93.6%)

##### 1. 利用者の年齢



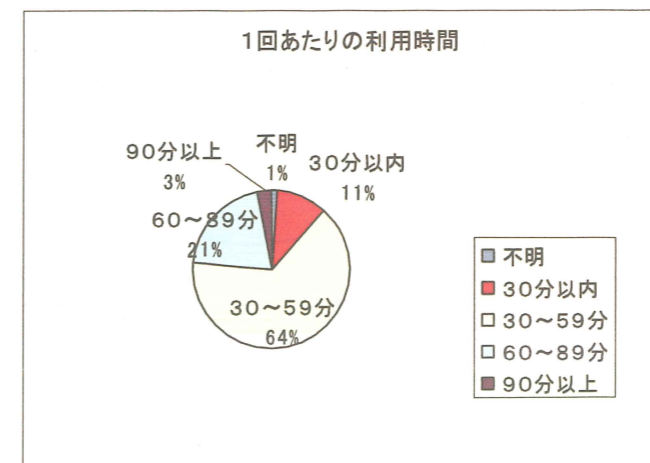
後期高齢者の利用が7割を占めている。

##### 2. 利用回数 (人)



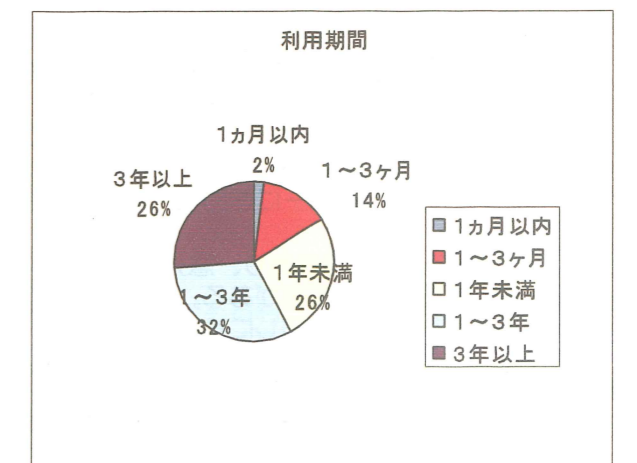
週1~2回の利用が全体の7割を占めている。週3回以上の頻度訪問は約2割であるが、その内2名が毎日訪問であった。

##### 3. 1回あたりの利用時間 (人)

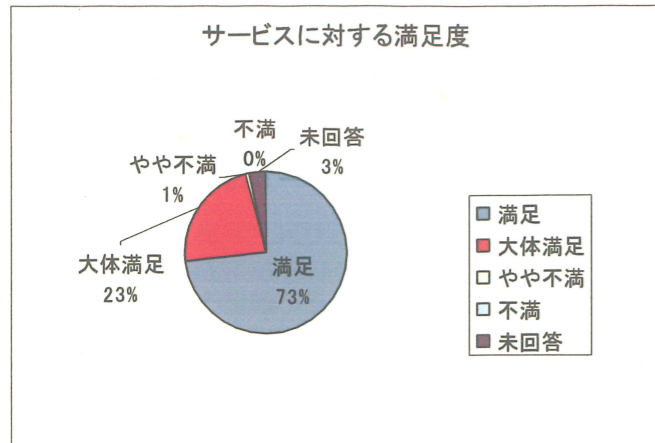


30分以内の訪問は約1割と少ない。

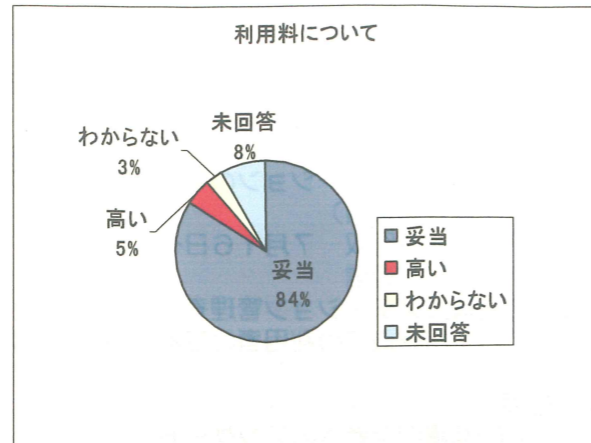
##### 4. 訪問期間 (人)



5. サービスに対する満足度 (人)

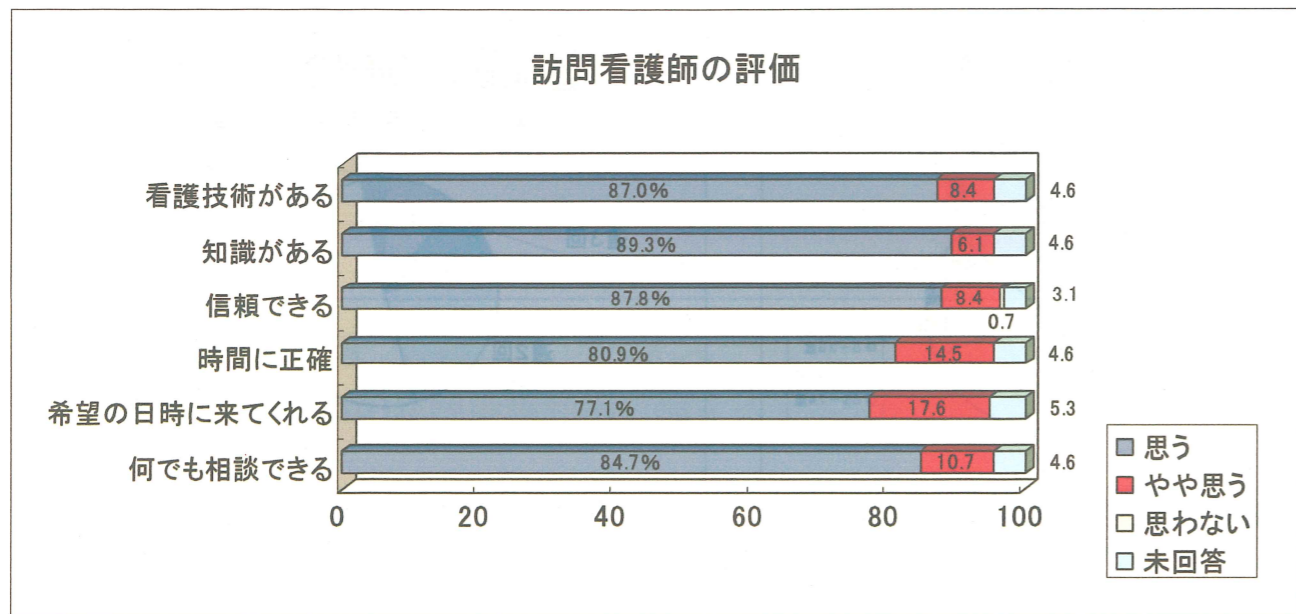


6. 利用料について (人)



利用料については、84%は「妥当」としているものの5%は「高い」と感じている。

7. 訪問看護に対する評価



サービスに対する満足度や看護師への評価は96%に利用者からは「満足」「やや満足」と評価されている。その主な意見として

- ・ 大変な仕事を気持ちよくやってくれるので感謝している。
- ・ 細かいところによく気がつき、それが具体的で理解しやすく助かる。
- ・ 通院が年齢とともに大変になり、定期的に健康状態を看てもらえ、心配ごとにも気軽に相談でき、本人にとっても、家族にとっても助かっている。
- ・ 自宅でリハビリが受けられ、家族も参考になる。
- ・ 専門的なアドバイスが役に立っている。
- ・ 独居のため、ヘルパーにも助言してもらい感謝している。

等があった。

一方、「やや不満」未回答もあり、意見として

- ・ 訪問看護師によって差がある。
- ・ 看護師によっては相談しにくい人もいる。

など、個々のレベルアップをはからなければならない。

また、

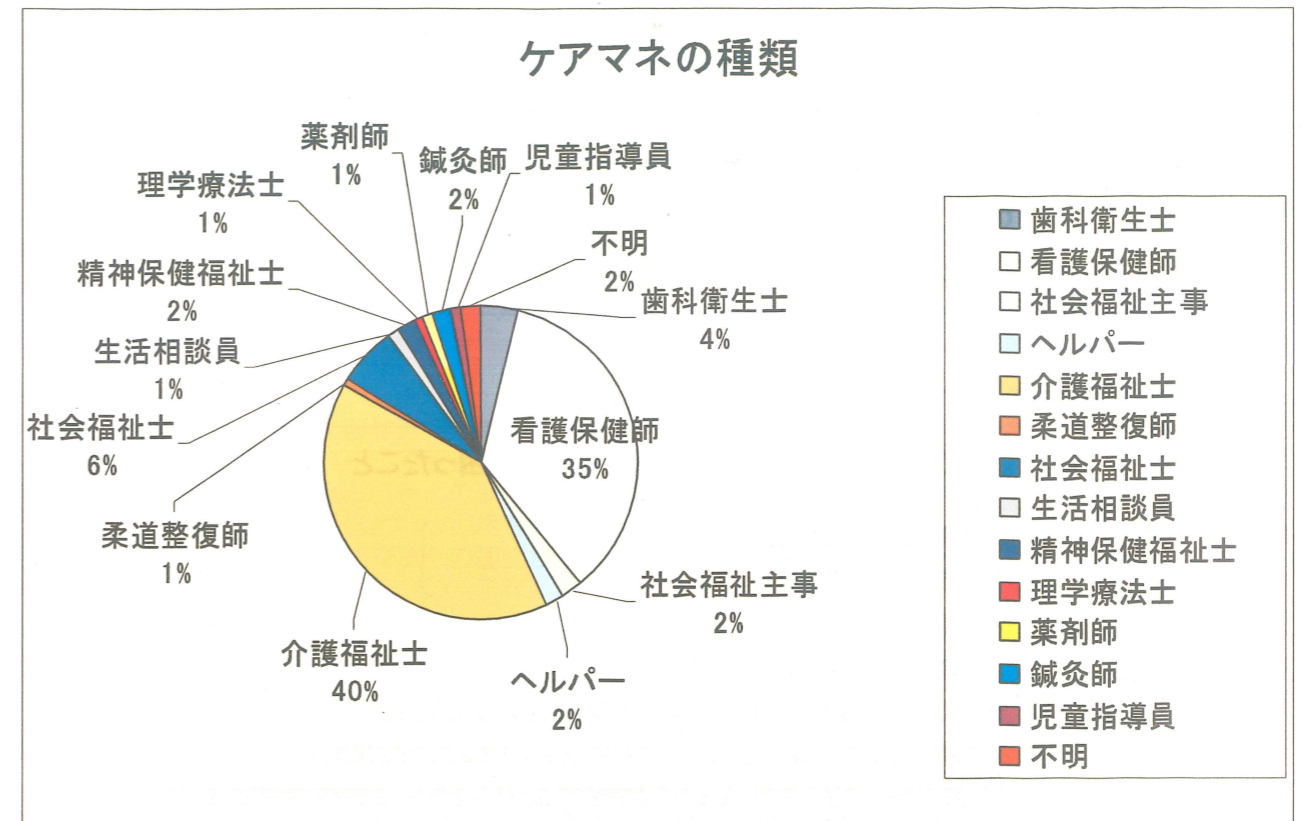
- ・ 訪問日が祝祭日、年末年始の対応を受けてもらいたい。
- ・ 訪問時間を決めて欲しい。
- ・ 同じ看護師に来てもらいたい。

等、ステーションの体制に対する要望もあった。

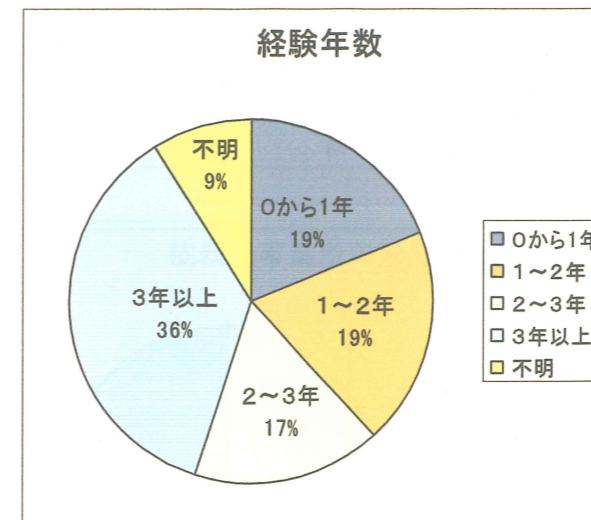
B) ケアマネージャーへのアンケート

船橋市内の居宅支援事業所140ヶ所にアンケートを配布し、162名のケアマネージャーより回答を得る。

1. ケアマネの種類

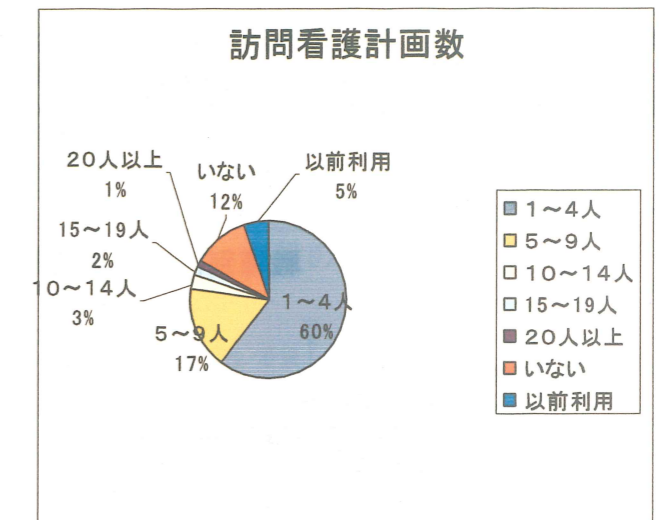


2. 経験年数



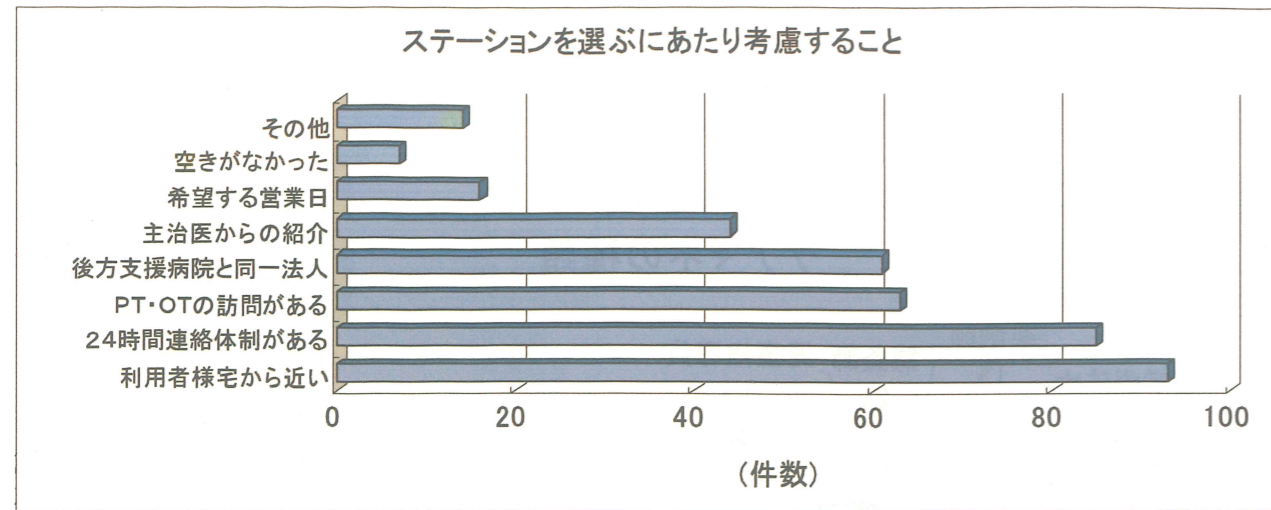
ケアマネージャーの年代、経験年数に大きな偏りはない。

3. 訪問看護の計画状況

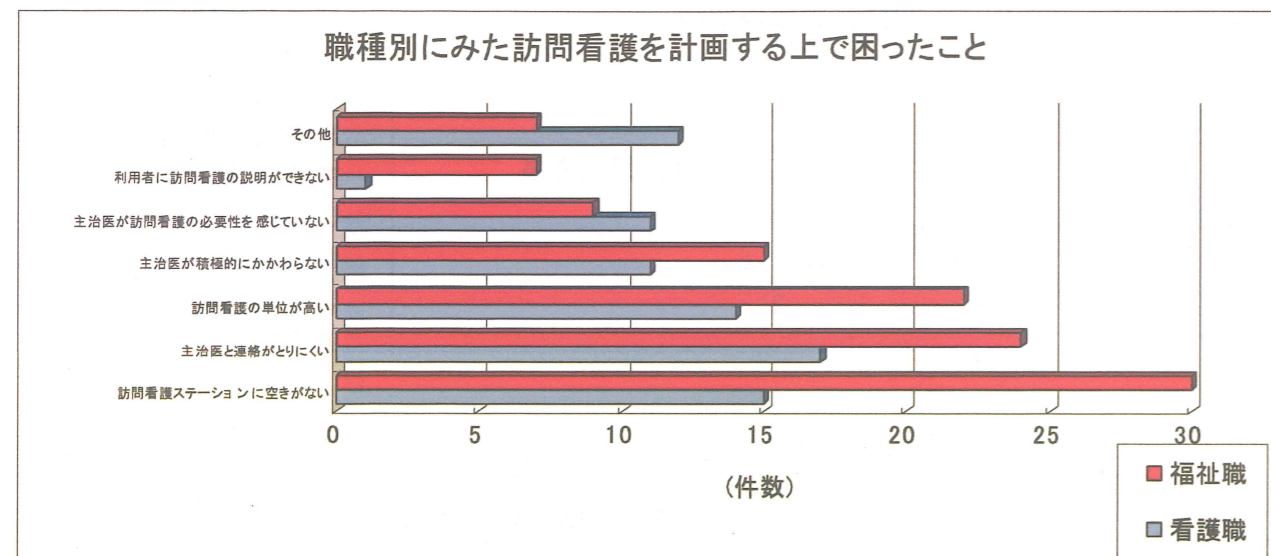


訪問看護の計画がある利用者は4人未満が60パーセントであった。10人以上訪問看護を計画しているケアマネージャーが11人いるが、ケアマネージャーの職種は看護師、保健師、理学療法士等医療系であった。

4. ステーションを選ぶにあたり考慮すること

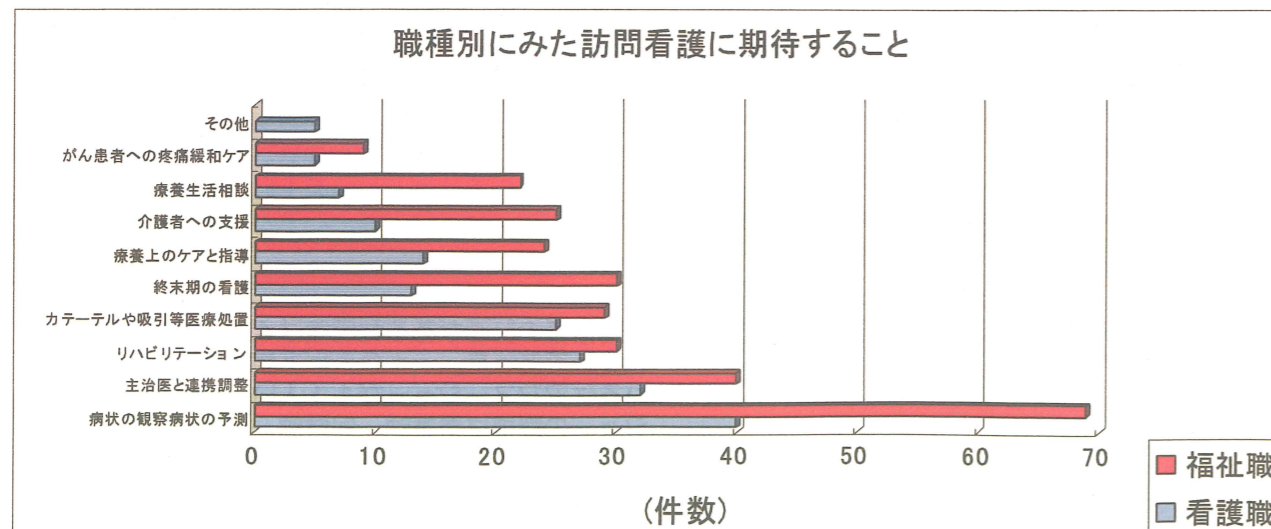


5. 訪問看護を計画する上で困ったこと



訪問看護を計画する上で困った経験の有無は、看護職が他職種よりもポイントが多かった。訪問看護を計画する上でどのようなことで困っているのかをみると、看護職、福祉職ともに主治医と連絡がとりにくい、主治医が積極的に在宅に関わらない等主治医に関することも大きな要因となっている。

6. 訪問看護に期待すること



訪問看護に期待することは、ケアマネの職種間の差はなく、病状観察、主治医との連携、リハビリ、医療的処置となっている。また、その中には、項目全てという回答もあった。

7. 訪問看護に対する意見

看護職

- ・24時間利用できる体制が整えば、医療ニーズが高い療養者の在宅が可能になるので期待したい。(30代 2~3年)
- ・ただ看護を提供するというのではなく、介護サービスチームの一員であるという自覚をして欲しい。(40代 3年以上)
- ・他のサービス事業に比べ連絡がとりにくい。(30代 2~3年) (状態変化時の報告がない、照会書の返信がない等)
- ・忙しそうで利用者からも気の毒がられている。(50代 不明)
- ・訪問看護で得た情報をケアマネも共有したい。(50代 3年以上)
- ・他サービスと連携していくという姿勢をあまり感じない。(30代 3年以上)
- ・訪問看護にもっとも入ってもらいたい。(50代 3年以上)
- ・ケアマネが単独で主治医のところへいっても訪問看護が理解してもらえなかったが、管理者同行で理解が得られた。(50代 3年以上)
- ・PT・OT・ST等の専門職とタイアップして訪問して欲しい。(40代 看護職)
- ・看護のPRが必要。重度の在宅ケア、ターミナルには訪看はかかせない。(60代 3年以上)
- ・緊急時に訪問してもらえて助かった。(40代 3年以上)

福祉職員

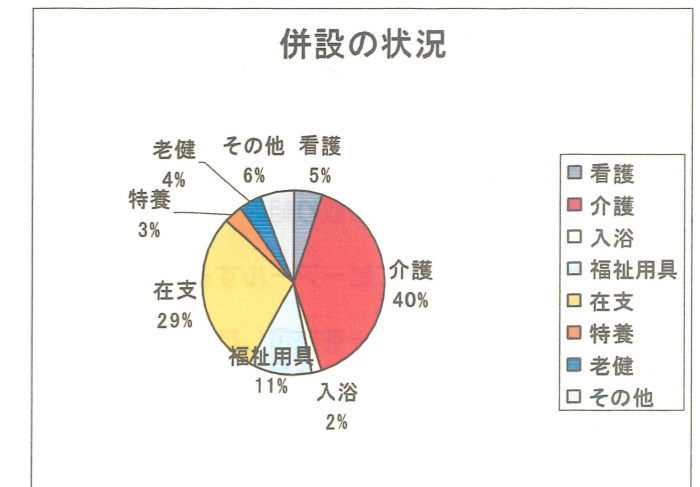
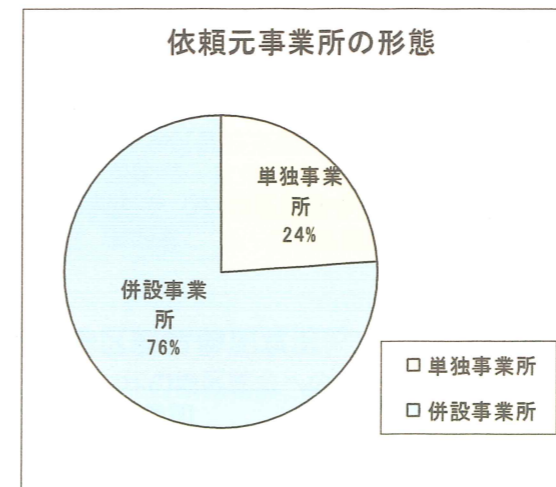
- ・主治医と連絡したことをケアマネにも情報が欲しい。(50代 3年以上)
- ・医療分野の知識をカバーして欲しい。(20代 1年未満)
- ・看護の単位が高く、ヘルパーとの違いをうまく説明できない。(40代 1年未満)
- ・看護は動かさず、口ばかりという利用者の声もある。役割を明確にして欲しい。(60代 1~2年)
- ・訪看が一人歩きし、ケアマネへの連絡が無いことが気になる。(50代 1~2年)
- ・報告が欲しい。(60代 2~3年)
- ・利用者に対する態度が横柄に感じることがある。(30代 1年未満)
- ・どこのステーションに空き状況があるのかわからない。空き情報のシステムがあるとよい。(30代 1~2年)
- ・ヘルパーと訪問看護の仕事の区別がつけにくい。(40代 1年未満)
- ・他サービスとの連携、情報の共有が大切。(40代 2~3年未満)
- ・ニーズが多いので空き情報が欲しい。(30代 1~2年)

C) 訪問看護ステーション管理者アンケート

船橋市内の訪問看護ステーション14ヶ所の管理者より聴取する。(回答率 100%)

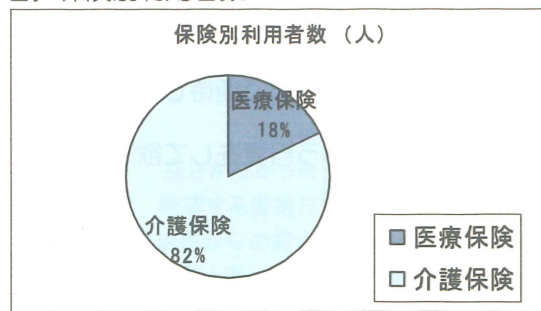
1. 訪問看護依頼元居宅支援事業所の形態 (事業所数)

単 独 事 業 所	58
併 設 事 業 所	181
計	239

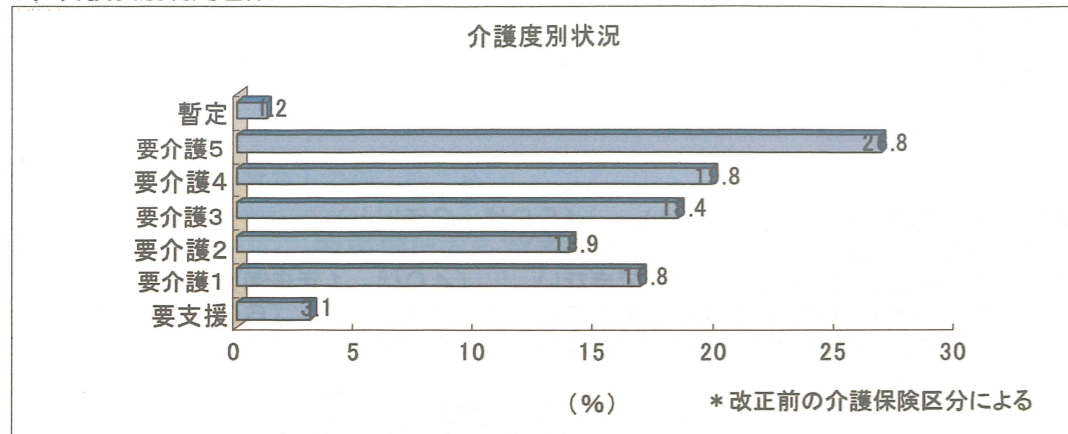


訪問看護利用者の依頼元をみると75%が併設事業所であり、訪問介護事業併設、在宅介護支援センター併設からの依頼で約7割を占める。

2. 保険別利用者数

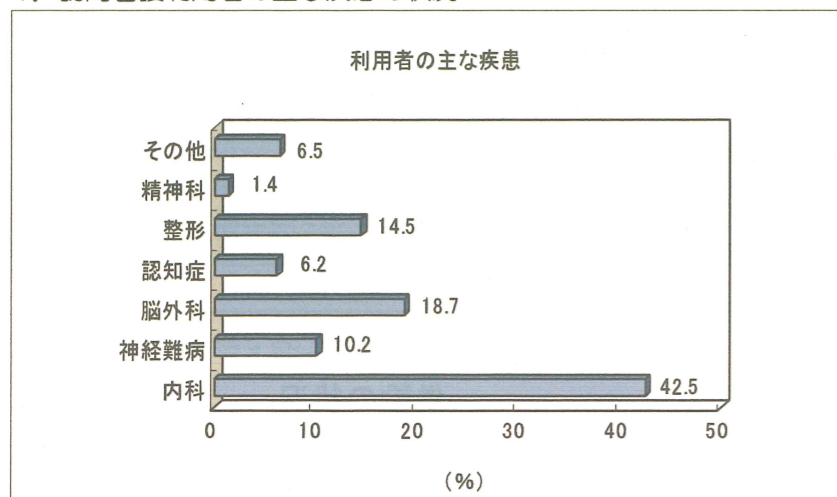


3. 介護度別利用者数



保険別の利用者の状況では介護保険での利用が8割を占め、介護度別状況では、要介護5の利用者が全体の1/4を占め、要介護3以上の重度介護者は65%である。

4. 訪問看護利用者の主な疾患の状況



その他の中には末期の悪性腫瘍、褥瘡の悪化、小児特定疾患、多岐にわたる。

5. 訪問看護アピールのための取り組み

- ・系列のサービス事業所にピーアールする
- ・ホームページに掲載する
- ・後方病院内各所にポスターを掲示したり、パンフレットを設置する
- ・後方病院職員に「訪問便り」を発行する
- ・理学療法士、看護師が連携し「リハビリテーションと看護」のサービスを提供し、自立支援を目指している。
- ・積極的に担当者会議に参加し、看護のピーアールをする
- ・ケアマネージャーに積極的に声を掛ける
- ・事業所の窓に訪問看護の表示をする

考察

今回、船橋市内の訪問看護ステーションが協力し、利用者様、ケアマネージャーに対し、アンケートを実施した。

それぞれのステーションにおいて訪問看護ステーションを今後どう運営するか考えるあしがかりとなった。まずは、訪問看護師のサービス提供者としての意識。利用者様からは、大方、良い評価を頂戴しているが、介護サービスチームの一員として、ケアマネ、主治医、他サービス提供者と情報交換を密にすること。

訪問看護の計画に際しては、ケアマネの職種間による差は見られなかったが、今後、機会あるごとに訪問看護のPRも必要と考える。

一方、訪問看護を計画する際に、ステーションの空きがなく困っているという声も多く、慢性的な看護師不足という問題もあり、24時間の訪問看護体制や看護内容の充実を図るためには、一市だけの問題ではなく県や協会等へ現場の声をあげていく必要があるのではないか。

予防給付ケアプラン作成の考え方

医療法人社団明生会  
訪問看護ステーションかがやき  
小川 直子

平成18年度4月より介護予防給付が開始され、これまでのケアプランとは少しスタイルの違う予防給付用のケアプラン作成が必要になりました。予防給付プランにおいても基本理念はこれまでの介護給付と同様に「自立支援」にあります。予防給付ケアプランでは、自立に向けてケアプランを利用者やその家族とともに「協働」して作成していくプロセスに主眼を置いた書式になっています。利用者の介護予防への気づきを引き出しながら利用者自身が参画してケアプランを作成する課程を記載するようになっています。利用者が既存のサービスのみならず、地域の社会資源や利用者自身の努力によって介護予防を実践することができるように「合意」を得るプロセスについて記載することが重要です。

これまでの介護給付におけるケアプラン作成でもニーズの選定はアセスメントを基に利用者の意欲を引き出す課程を重要視していましたが、今回の予防給付ではより利用者自身が積極的に取り組めるようなかかわりを行うことが重要となります。そしてそのステップ一つ一つを丁寧に記載することにより、客観的な状況を利用者自身に気づかせる点に今回のプラン作成の狙いがあります。アセスメントからプランの立案までを一貫して利用者との合意によって実施することによりこれまで以上に利用者主体のプラン作成の実践が可能になると思います。



◆地区部会アンケート結果◆

総会等の地区部会活動報告の中でもとりわけ地区部会活動について改善すべき点があると言われていました。今回、活動が一定のステーションに偏る傾向があることと、参加できないステーションの状況の把握を行いたいという目的で、(A)地区部会参加状況アンケートを行いました。

また、年回避についての意識調査を行い、協議会活動の意見を(B)年会費についてのアンケートで実施しました。

(A)地区部会参加状況アンケート 全ステーション アンケート回収 88st/164(53.6%)

1. 過去1年の地区部会への参加率

ほぼ参加	46st	52 %
半分程度	20	23
たまに	16	18
全く参加していない	6	7

2. 参加できない理由(3つ選択)

ア	ステーションの人員不足	52st	カ 内容に興味・関心が薄い	2
イ	法人等の規制	2	キ 地区の役が重荷になる	14
ウ	収益が減少する	6	ク 距離・時間の問題	37
エ	家庭の事情	20	ケ 案内が遅い・日程調整が難しい	14
オ	自己の体調不良	6	その他*	

\* その他 の理由

- ① 人員不足のため日程調整が難しい 2
- ② (土)は1日訪問日のため予定変更ができない(週1回訪問のため) デイサービスや入浴サービスの都合にて 3
- ③ 管理者の退職等で組織の意識低下に伴うもの。今後は迷惑をかけないようにしたい 1
- ④ 地区の役が重荷…人数が少ないところでは負担が大きい 1
- ⑤ ケ…日程調整が難しい 1
- ⑥ 学会発表と重なっていた。他の行事や会議と重なっていた。 5
- ⑦ 訪問日で重要な面接が入っていた 1
- ⑧ 忘れてしまうことがある 1
- ⑨ H17.12月入職、前のst.では参加していた 1
- ⑩ 体調不良、週休の日は休息したい 1
- ⑪ 開催場所により交通の便が良くないと緊急携帯の当番の場合、動きづらい。 2
- ⑫ 代休を消化するため平日の営業に支障が起きる 1
- ⑬ 管理者が入所と兼任。管理を一任されているNs.の時間規制がある 1

3. 所長会の開催曜日・時間帯の希望 (複数回答あり)

ア、曜日

平日	36st	41%
土曜日	61	69
日曜日	6	9

イ、時間帯

一日	1	1%
AM	26	30
昼をはさみ数時間	5	6
PM	46	52
夕方業務終了後	15	17

\* 現在は公休を利用しての参加もあり、他の日(平日)の参加ではできなくなると思う 1

4. 地区研修へのスタッフ参加について (無回答あり)

ア、スタッフもできるだけ参加	46st	52%
イ、管理者のみ参加が多い	32	36
ウ、誰も参加できない	4	5

(参加できない理由)

- ① スタッフの人数が少ない。管理者参加の日は他のスタッフは参加できない。 4
- ② 会場が近い場合はスタッフも参加意識が高いが、遠いと希望しないことが多い。 3
- ③ 複数で一緒にという考えのためもある。 1
- ④ 手当ても出ないのに参加したくないという意見もある。 3
- 非常勤の場合、法人の保証はなく自発的な参加となっている。
- ⑤ 参加を促しているがパートも多く、意欲もない。管理者の指導不足も原因だと思っている。 2
- 参加を促しても行きたくないと拒否。
- ⑥ 人員調整が難しい時は欠席するが…。 2
- ⑦ 土曜日でもスタッフ1人体制、同世代のスタッフで子供の行事等で参加できないことが多い。 8
- ⑧ 居宅も業務のためケースにより(土)出勤もあり、平日残業も多い。 1
- ⑨ 余裕がない。 1
- ⑩ 日程・時間の問題。
  - ・ 週休が個人別のため同日は不可。
  - ・ 業務時間内は参加できない。
  - ・ パートが多く時間が限られる。
  - ・ (土)が多いためスタッフは(土)まで参加したくない思いが強い。
- ⑪ 収益の面。 1

5. 地区部会に参加する上で、楽しく活発になるような提案

- ① どのような研修を希望するのかアンケートをとってみる。 1
- ② スタッフが実習、グループワーク等参加型にする。 2
- ③ 参加するステーションは大体決まってきたので、全ステーションが参加できるように地区部会にしたい。そのためには所長会議を少し多くして所長同士のコミュニケーションを良くすることが大切だと思う。 2
- ④ 短時間で行えるようになり、昼食をとりながら行えるとよい。茶話会などを組み込んでいく。 4
- ⑤ 皆忙しい。抱えている問題が大きいので難しい。時間が取れない。 3
- ⑥ 管理者の姿勢が大切。
- ⑦ タイムリーなピックス、研修会を行ってほしい。興味のある内容を工夫していく。 3
- ⑧ 看護の質が向上するような研修を行ってほしい。 2
- 訪問看護をしていると最新医療がわからなくなり取り残されていくような不安がある。最新医療について時々学習したい。
- ⑨ 所長の要求に基づいた内容に作られていると思う。参加できない所長さんはどうしてなのか。時間がないなら参加しにくいステーションで開催するのはどうか。 2
- ⑩ 他の事業所との交流は有意義。 2
- ⑪ 年1回は食事を当番のステーションで行い、そのスタッフも参加したい。楽しく交流できる行事があれば良い。 3
- 全県地区でスタッフレベルの交流会があるとよい。
- ⑫ 最新情報などを提供してほしい。 1
- ⑬ アドバイザーを派遣してもらおう。 1
- ⑭ 話題がいつも同じようになってしまう。 1
- ⑮ 各事業からの情報交換があると良い。 1

(B)年会費について 全ステーション アンケート回収 88st/164(53.6%)無回答あり

1) 地区部会活動費は協議会年会費でまかなわれていることを

知っている	83	知らなかった	2
-------	----	--------	---

2) 現在の1万円は

低い	14	妥当	68	高い	0
わからない					1

3) 会費支払いの裁量権について

- ア. 管理者本人の裁量権がある → ① 支払いに困難はない (29)
- ② “ 支障がある (1)
- イ. 法人等の管理者に裁量権がある → ① 年会費支払いに困難はない (49)
- ② “ (1)

\* イの②……法人の理解があまりないため

4) 意見

- ① 送ってもらっている資料が大変参考になっている。今回はいろいろな情報・研修等の資料を各ステーションへ直接郵送していただいているので、見やすく確実に受け取ることができ助かっている。今後も継続していただきたい。
- ② あるst.が直面したトラブルを会で共有し考えることになり、トラブルの再発を防ぎst.のレベルアップになり、制度等の問題を考えるきっかけになる。
- ③ 1時間程度の短時間で頻回に行ってもらえると良い。
- ④ 今後もタイムリーな情報提供や研修をお願いしたい。
- ⑤ 他の地区部会の活動を見学したい。
- ⑥ 役職につくのは自分の許容範囲外にかんがえているが、それ以外であれば会議等には参加するように心がけている。(地区部会等)
- ⑦ 看護協会との連携、看看連携をとりやすいように訪問看護師をアピールしてほしい。
- ⑧ 毎回参加したいと思っているが、なかなか参加できないので申し訳ない。

地区部会活動について～千葉市地区部会～

千葉市地区

緑が丘訪問看護ステーション  
山崎 潤子

千葉市地区部会は千葉市内 26 ステーションから成り立っています。千葉市は6つの行政区に分かれており、同じ千葉市といっても中心部、新興地区、農村地区と地域による特色が様々です。

そのため、同じ千葉市内の訪問看護ステーションでも、地域により抱える悩みも違いが出てきます。とはいえ、訪問看護ステーションの運営で苦労する点は同じで、国や県からの通知や資料にやや翻弄されながらもよりよい訪問看護を提供できるよう、新しい情報にアンテナを張り巡らせているところです。

そのような中、去る4月15日に、千葉市ハーモニープラザにて地区部会所長会議が開催されました。今回の所長会議では、平成18年度からの介護報酬・診療報酬改定、介護予防サービスの開始についてなど、盛りだくさんな内容で情報交換が行なわれました。法律を読みこなすという慣れない作業に、頭の中はパンク寸前ですが、これが分からないとこれからの業務に支障が出るという参加者の熱意と気迫が伝わり、活発な所長会議になったのではないかと思います。

個人的には所長会議に参加すると、他のステーションのパワフルな所長さん達から刺激を受け、自分も頑張らなければという気持ちにさせてもらっています。どこのステーションも忙しく、なかなか会議・研修に参加する時間を作れないことも多いかと思いますが、そういうときこそ地区部会に参加して、前向きなエネルギーを補充してもらえればと思っています。



■ 私たちステーションの活動紹介 ■

君津・安房地区

ベル訪問看護ステーション  
田川 牧子

君津・安房地区部会のサポワール(有)ベル訪問看護ステーションです。私達は他のサービスと併設しており、居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴、福祉用具貸与・販売を行っております。定期的に責任者間で話し合い、各サービスや全体的にも意見交換を行います。また、技術の向上を目指して積極的に勉強会を行い、より良いサービスを提供できるよう日々努力しております。

訪問看護は母体病院からの依頼が8~9割で、退院後のサポートをしています。病院側からは、急変時や定期的な往診を対応していただけるという事で、連携が取れてきたと思います。その為、利用者様の自宅で過ごしたいという希望が家族に受け入れられ、自宅で介護する不安の声も少なくなり、退院後の在宅療養がスムーズに移行されていると感じられます。利用者様のほとんどが高齢の方ですので、病状について細かく説明をしておりますが、理解されて実行するまでに時間がかかる方もいらっしゃいます。訪問の度に確認をし、焦らずじっくりと関わっていかねばならないと思います。どの利用者様に対しても、御本人の気持ちやその方に関わる方々の考えを十分に把握し、その方に合った看護指導が必要と実感しました。

今後も他のサービス事業所の方々と連携を密に取り、利用者様が安心していただける在宅療養のサポートが出来るよう、努力し続けたいと思います。

まだまだ未熟な私達ですが、ご指導の程よろしくお願い致します。

サポワール



松戸神経内科訪問看護ステーション  
川田 恵

東葛北部地

「〇〇さん桜見に行きたいってお話していたんです。」「最近血圧も安定して体調良いね。」「どうやればあの玄関出られるかな?」「何分ぐらい座ってられるかな?」「文字盤忘れないでね。」「土手の桜もそろそろ見頃だから、プラン立てよう。」等の会話が今日もステーションに響いています。

「矢切りの渡し」で有名な松戸市の江戸川沿いに当ステーションはあります。神経内科専門外来クリニックを母体に持ち、看護師の他に理学療法士・作業療法士・言語聴覚士やケアマネージャーで構成されております。通所リハビリ(ふれあい広場)も併設しており、法人全体で『リハビリテーション』に力を注ぎ、地域と連携を図っております。当ステーションの特色として、パーキンソン病やSCD・ALS等の神経難病の方が多く、リハビリテーション等適切な対応をしていかないと、病状がより進んでしまいます。

ご自宅でいつまでも安全でその方らしい生活が送れるようにと、医療的な面だけでなく、楽しみ・生活への意欲が持てるように、何気ない日々の会話にもアンテナを張り、訪問しています。そんなスタッフ間から上記のような声が、ステーションの中で飛び交っています。一つの事を色々な職種の見地から意見を出し合い、それが実現できるように奮闘の毎日です。

まだまだ若いステーションで切磋琢磨の日々ですが、



もっと地域に根ざしたステーションを目指し、今日も訪問しております。



マーチン訪問看護ステーション  
石井 佳子

印旛・山武地区

房総半島のほぼ中央に位置し、九十九里海岸に隣接している東金市は昭和29年4月に近隣の7ヵ町村の合併により千葉県下で13番目の市として誕生しました。

名勝地八鶴湖の桜祭りををはじめ、静かな水面に四季折々の風景を映し出す「房総十和田湖」と呼ばれている雄蛇ヶ池や、807年頃最澄が安国山最福寺を創建した時に近江国の日吉神社の分霊を祀ったのがはじまりとされる日吉神社など、数え切れない程の有形、無形民族文化財をもつ歴史のある東金市です。

緑と自然の多い東金市は季節を問わず人の心を癒して優しい気持ちしてくれます。



昨年5月に誕生しました「マーチン訪問看護ステーション」を紹介いたします。

従事しているナースは30歳代~40歳代で皆関東で明るいです。患者様と心から向き合い、明るく楽しい看護に努めています。

平成13年4月に介護保険制度の「サービス事業所」として、訪問介護と訪問入浴介護で発足し、平成16年に居宅支援事業、福祉用具貸与、住宅改修等のサービス事業を取得して現在に至っております。

我が社の理念「人間の尊厳を大切に、明るい心、感謝の心、親身の心でサポートします」を各々が胸に刻み高齢者支援に良い信頼関係を築いて、その人らしい生き方に添えるように日々関わって行きたいと、社員一同努力しております。

東葛南部地区

平成 17 年 12 月、セコメディック病院で行っていた訪問看護がステーションとして開業しました。ステーションとなった事で病院外の方々にも利用していただける、より地域に密着した訪問看護を行っていく事が可能となりました。

今までは病院から退院された患者様の継続看護が主で、人工呼吸器装着者や神経難病、癌末期、腹膜透析等医療依存度の高い方が大半を占めていました。現在では地域ケアマネからの依頼も多く、褥創処置やリハビリテーション等幅広くご利用者のニーズに応える看護を行っています。

ステーションのモットーは、「在宅生活をその人らしく安全に安心して長く過ごしていただく。」です。その為には担当医師をはじめMSW、他の福祉サービス事業者との連携は欠かせません。しかし在宅が見直されている今でも病院との壁はあります。それを拭い去るのは難しい事ですが、お互いが必要性を認め、情報交換を怠らず、ご利用者にとって何が第一かを常に考えていきたいと思っています。

最近では、忘れられない終末期訪問がありました。『最期は家で』の希望のもと、ご家族一人一人がお別れを告げ、ご自身も想いを言葉に話し、お互いが最期を受け入れた心打たれるものでした。

エンゼルケアでは、洗髪後に娘さんが髪をカールし化粧をし、その方らしい旅立ちをお手伝いさせていただきました。ステーションとしての事業は始まったばかりですが、スタッフ一同熱い思いを胸に訪問看護に取り組んでいきたいと思っています。



せいわ訪問看護ステーション  
所長 石井 まり

夷隅・長生・市原地区

当ステーションは、平成 10 年 10 月にオープンし、現在 3 名のスタッフで活動しています。訪問診療自体は、併設の診療所が 30 年程前から行っており、平成 3 年に訪問看護を始め、その後、より充実したサービスを目指し、ステーションへ移行しました。

併設施設に診療所をはじめ、通所系サービス、訪問リハ・介護、短期入所・療養、居宅を有しており、利用者さんに一環したサービスを提供できるとともに、スタッフにとっても、早く、スムーズな対応ができることが特徴です。

訪問看護も、当初は利用者さんの健康管理といった保健師的役割から、現在の在宅での高度医療への対応へと役割も高度・多様化してきましたが、地域的に古くからお付き合いのある方が多く、地域に密着している分、関わりも深くなっています。又、可能な限り利用者さん・御家族の意向を受け入れるようにし、時間をかけても一つ一つ根拠があり、納得のいく対応をする様に心掛けています。利用者さんも大切な家族の一員であり、看護師も家族の生活をサポートする大切な役割を任せてくださる中、結婚式の付き添いや、レスピレーターを装着し、植物状態となってしまった方の一泊旅行にもご家族の希望で同行してきました。ここでは、同じ目的を持った各々のスタッフが一つのチームとなって協力した結果が、心に残る素晴らしい旅行を実現させる事になりました。(総勢 22 名参加)

今後も、スタッフ一同利用者さんを暖かく見守り、可能性を求めた関わりをしていきたいと考えています。



○私たちステーションのオススメ○

道の駅 多古 あじさい館

香取・海匠地区

多古町訪問看護ステーション

成田空港から東へ車で 15 分走ると、ベイFMでお馴染み、多古米でちょっと名の知れた、多古町に至ります。国道 296 号沿い、そして栗山川沿いに、「道の駅 多古 あじさい館」があります。川沿いの遊歩道は、春は菜の花、初夏に紫陽花、秋はコスモスが咲き誇り、4 月は菜の花祭り、6 月はあじさい祭り、9 月はコスモス祭りが毎年にごやかに開催されます。

あじさい館では地元生産者による、美味しい多古米をはじめ、新鮮野菜や太巻き寿司などが売られています。ぜひご賞味あれ!

また、2 階レストランからは栗山川を見下ろし、周囲の田園風景も楽しめます?! 春の田園の水面、夏から秋の緑の絨毯と黄金絨毯は絶景です。

同じく、国道 296 号沿いには、本場イタリア出身のダニエルさんの焼く「たこピザ」もあります。古バスを改造しその中でピザを焼いています。生地は薄く、パリパリとしています。多古ならではの「たこピザ」はオススメです。(写真はダニエルさんと、娘さんです。)

近くまでおいでの際はぜひお寄り下さい。お待ちしております!



編集後記

皆様のご協力のもと、6 回目を迎えることができました。ありがとうございます。いつでも原稿を募集しております。どうぞ寄稿ください。次回は 11 月頃を予定しています。法改正に関するものや、初めてのレシピについてなどはいかがでしょう?

突然ですが我が家の情報を。あととり息子の“さすけ”1 歳です。(写真) 年上のお嫁さんがきましたが、もう尻に敷かれています・・・<泉山>



広報担当：さつき台訪問看護ステーション(相原) / みやこ台訪問看護ステーション(地主) / 茂原訪問看護ステーション(泉) / 訪問看護ステーションゆうこう(泉山)

◎研修企画予定◎

今年度の研修会の予定につきましては、総会にて話し合いの上決定することになっております。今後の活動の助けになるような、また相互に研鑽していけるような研修を企画しましょう。